

(様式第7号)

平成29年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴親海公園		
指定管理者	株式会社農業法人ふるる		
設置目的	海に親しむ憩いの場、海を基調とした自然との触れ合いの場及びレクリエーションの場を提供し、都市との交流を図ることにより地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	産業振興部水産課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
利用者数(人)	18,620	17,665	18,492	20,065	
利用料金(円)	0	0	0	0	
指定管理料(円)	8,162,000	8,162,000	8,162,000	8,162,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
漁村活性化センターの利用人数	25,000人	14,500人	11,371人	78%
海釣り護岸の利用人数	8,000人	6,000人	8,694人	145%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	0	人件費	12,114,467
指定管理料	8,162,000	維持管理費	2,149,415
事業収入	18,537,226	事業費	12,034,175
その他	0	その他	0
合計	26,699,226	合計	26,298,057
差額			401,169

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	海釣り護岸の利用人数は目標を達成したが、漁村活性化センターは目標を達成できなかった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	概ね施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営ができた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね施設の果たすべき使命(ミッション)を果たした。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	27年度から2ヶ年間続いた赤字から脱却し、約40万円の黒字を計上したが、漁村活性化センター(レストラン エムズデリ)の売上高は前年度と比較して22%減少した。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	前年度と比較し、海釣り護岸の利用人数は約68%増加したが、漁村活性化センター(レストラン エムズデリ)の利用者数は約15%減少した。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	アンケート結果等によると概ね満足が得られているものと認められる。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	レストランではアンケートや利用者から直接聞き取るなど、意見の把握に努めている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	概ね満足が得られているものと認められる。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	節電の徹底や電気料金契約プランの見直しなど経費削減に努めた。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	レストランの仕入について、地元からの食材調達など経費削減に努めた。
収入増加のための取組が行われたか	△	ランチメニューの売上については、新メニューにより4.5%増加したが、宴席による売上は、人員の不足により対応できず半減した。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	宴会など大人数に対応できない場合があり、人員が不足するケースがあった。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接遇の研修参加など、能力向上のための取組が行われた。
施設の平等な利用が行われたか	○	特に問題なく利用されている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	予約客の名前、電話番号等の個人情報について、適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	該当する事案はなかった。
収支状況や会計処理が適切か	○	収支状況や会計処理に特に問題はない。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法定点検及び保守は、専門業者等に委託し、適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	備品等の管理は適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	仕様書に基づく安全管理計画や事故対応マニュアルを作成している。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	管理運営にあたっては、法令を遵守し適正に行われている。

(5) その他コメント	
サービス向上	公園利用者の快適性を向上させるため、清掃等清潔な環境づくりに取り組んでいる。また、レストラン利用者には「海自カレー」など新たなメニューの開発や接遇の向上などに取り組んでいる。今後は更に、地域の活性化や集客につながる取り組みとして、メニューの開発や宴席利用の促進に努めていただきたい。
経費削減	外部委託でなく自社職員による公園の管理や徹底した人件費の経費削減により、赤字を脱却したことは評価できるが、サービスの低下を招くことがないように努めていただきたい。
施設の維持・管理	公園利用者の快適性、利便性向上のため、更にきめ細やかな管理に努めていただきたい。特に除草については、公園利用者に不快感を与えることがないように努めていただきたい。漁村活性化センター及び海釣り護岸については、定期的な点検と清掃を徹底し、常に、利用者に心地良い空間を提供できるよう努めていただきたい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- (優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.83点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	レストラン部門について売上げの減少を売上原価の削減で賄っているが、原価率が低すぎる。ランチメニューを利用者に適した内容に見直したほうがよい(軽食中心のものにしたり、海釣り客向けの安価なメニューを設定したりするなど)。指定管理者の努力を期待する。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	年度	平均
3.2点	2.42点	2.5点	点	2.7点